

下大和田谷津田だより

2003年1月号

第19回谷津田プレーランド・プロジェクト 晩秋の谷津田を楽しもう！ 12月22日 曇り

一時は雪になるのでは？と心配された天気ですが、今回もまたまた予報がはずれて雨に降られることなく、下大和田谷津田プレーランドプロジェクト（YPP）の「古代米でモチつきベッタン！」が行われました（YPPはほとんど奇跡のように天気に恵まれています！）。

餅つきの前にまずは谷津の自然を五感で味わうオリエンテーリングをしました。5カ所のチェックポイントを探し回って、自然を肌で感じるアクティビティです。サザンカのハツとするような香り、アシ原から聞こえてくるかすかな鳥の声など、感覚をとぎすますといろいろな発見があります。地下水の湧き出し口に近い小川は水温が高く、この季節でもメダカの姿が見られて驚きました。各ポイントに一文字ずつ書かれている文字を集めて、最後に言葉ができるゲームに、子どもたちも一生懸命。みんなそれぞれに初冬の谷津田で印象深い体験ができました。

次に場所をイベント広場に移して餅つきをしました。ついたのは、みんなで育てた古代米のうち、もち米の緑米です。かまどで蒸して、臼と杵でベッタン、ベッタン！腕に覚えのある年輩の方は華麗に杵をふるい、小さな子どもも得意げにもちをついていました。谷津田を眺めながら、みんなでワイワイついたお餅を食べるのは格別で、あっという間になくなってしまいました。黒米、赤米、紫米、緑米をミックスした自称「レインボー米」も炊いて試食しました（収穫の関係で混じり合ってしまった）。黒米から出た紫に色づいたご飯はおこわの食感でこちらもとてもおいしい味でした。この季節、定番の焚き火は最後まで子どもたちの人気の的で、さつまいもを焼いたり、ポップコーンならぬお米の「ポップライス」を作ったり、ちょびり火遊びもしました。

寒さを忘れて楽しんだ初冬の日でした。

（参加者：大人27人・小中学生8人・乳幼児2人、報告：高山邦明）

自然観察報告

11月30日

12月の定例観察会は天候の関係で中止となりました。代わりに前日の11月30日、田井中信子さんが観察された記録を掲載します。ミズニラの芽生えが見られたそうです。

<植物> アイノコセンダングサ、ウシハコベ、オオアレチノギク、オニノゲシ、カタバミ、コセンダングサ、シロネ、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、タネツケバナ、ノゲシ、ノミノフスマ、ハハコグサ、ハルジオン、ヒメジョオン、ヤツデ、オオハナワラビ（胞子）

<野鳥> アオジ、ウグイス、コゲラ、セグロセキレイ、ダイサギ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、モズ、

<昆虫・蜘蛛・他> オケラ、オンブバッタ、コバネイナゴ、ナナホシテントウムシ、ナミテントウムシ、ミスズマシ、モンシロチョウ、ナガコガネグモ、オオカマキリ（卵囊）、チョウセンカマキリ（卵囊）、アカネ sp.

（報告：田井中信子）

下大和田季節のたより

12月14日 冷え込んだ早朝の田んぼは気温が氷点下5度。霜と氷で一面まっ白。あちこちからアオジの小さな地鳴きが聞こえる。他にウグイス、ヒヨドリ、コゲラ、シジウカラ、エナガ、モズ、カケス、ツグミ、ハクセキレイ、セグレセキレイ、カワセミなどがいて、谷津田の野鳥は冬もにぎやか。

12月28日 この季節、エナガはアシ原に群れでやってきてしきりに餌を食べている。小さなその姿は実に愛くるしい。

新しい年を皆さんいかがお迎えですか？下大和田での観察会は今年で4年目、谷津田プレーランド・プロジェクト（YPP）は3年目になります。今年も谷津田をもっと知り、もっと楽しみたいと思いますので、よろしく願いいたします。

高山邦明